



あかがわ 社協 だより

第 8 7 号

～ボランティアセンター運営委員会～

2月12日にボランティアセンター運営委員会が開催されました。村内ボランティア団体の代表や関係者が集まり、ボランティアに関する話し合いが行われています。

編集発行 平成31年3月1日発行
 社会福祉 赤井川村社会福祉協議会
 法 人
 〒046-0501
 北海道余市郡赤井川村字赤井川318番地1
 赤井川村デイサービスセンター内
 電 話 (0135) 34-6068番
 F A X (0135) 34-6069番
 Eメール akaigawa.syakyou@wine.plala.or.jp

**無料電話サービス
実施中です**

お一人暮らし、高齢者のみの世帯、日中独居などで、不安のある方など。
 安否確認、話し相手など。ボランティアさんがお電話します。
 希望される方は、社会福祉協議会までご相談ください。

配食ボランティアの会

配食ボランティアの会では、毎週金曜日に作りたてのお弁当を必要な高齢者の方々に配達しております。

平成10年より始められ、今年で21年目です。昨年は1年間で1,304食ものお弁当が届けられました。お届けと同時に安否確認も兼ねております。

今年も気持ちのこもった暖かいお弁当を配達いたします。



(配食サービスの材料費等には、共同募金の配分金が使用されています)

赤井川村日赤奉仕団共同企画

「災害時高齢者支援講習会」お知らせ

今年度も赤井川村日赤奉仕団さんと共同で災害時対応の講習会を企画しております。

災害は予期せず発生し、対応を求められます。正しい知識を身に付けて、混乱なく対処できるよう準備をしませんか？今回は災害時の高齢者支援や段ボールベッドの効果と使用方法について学んでいきます。必要な方には会場まで送迎もいたします。お気軽にご参加下さい。



○開催日：平成31年3月11日(月)
13時30分～
(90分ほどを予定)

○場 所：赤井川村健康支援センター
多目的健康指導実践室

○内 容：『災害時高齢者生活支援講習』
『段ボールベッドの有効性』

※当日は日本赤十字北海道支部より原田講師をお招きし、講習をしていただきます。



共同募金、歳末たすけあい募金に ご協力いただき、ありがとうございました。

募金結果報告

募金内訳（順不同、敬称略）

赤い羽根共同募金		目標額 264,000円に対して	
平成30年10月1日～12月31日		365,840円集まりました。	
ご芳名	金額(円)	ご芳名	金額(円)
村内区会合計	187,800	赤井川中学校	18,070
ふれあい健康まつり (募金活動：赤中生徒会協力)	6,374	セイコーマート(募金箱)	22
ふれあい健康まつり 売上他	縁日 33,780	赤井川村役場(募金箱)	0
	フリーマーケット 4,111	山中牧場(募金箱)	1,684
	農産物販売等 1,500	キロロリゾート(募金箱)	112
カルデラ味覚まつり 売上他	若どり 38,092	赤井川郵便局(募金箱)	2,478
	リサイクル 43,900	カルデラ温泉(募金箱)	3,991
個人名義(1名分)	1,000	健康支援センター(募金箱)	0
河村商店	1,804	道の駅(募金箱)	3,306
赤井川小学校	6,721	赤井川診療所(募金箱)	3,980
都小学校	4,365	社会福祉協議会(募金箱)	2,750
歳末たすけあい募金		目標額 190,000円に対して	
平成30年12月1日～12月31日		209,118円集まりました。	
ご芳名	金額(円)	ご芳名	金額(円)
村内区会合計	186,600	サークルひまわり	2,000
こけしの会	7,000	もみじ祭実行委員会	10,000
個人名義(1名分)	3,518		

各小中学校や皆様から集められた共同募金、歳末たすけあい募金は北海道内の障がい者や子供たちの福祉活動に使用されるほか、村内の福祉活動に活用されます。

皆様のあたたかなご協力、どうもありがとうございました。

(村内での分配先活動 一例)

- 老人クラブ悠楽会の活動資金として
- 赤井川村遺族会の活動資金として
- 高齢者配食サービスの資金として

- 赤井川手話会の活動資金として
- 赤井川村身体障害者福祉協会の活動資金として
- 買い物ツアーの財源として

北海道信用金庫ひまわり財団様より

福祉助成金をいただきました



北海道信用金庫ひまわり財団様から10万円の福祉助成金を贈呈していただきました。頂戴した福祉助成金は地域福祉事業費の一部として大切に使用させていただきます。

北海道信用金庫ひまわり財団様、本当にありがとうございました。

募金箱型自動販売機 設置のお願い

現在、社会福祉協議会では募金のできる自動販売機「ハートフルベンダー」のご案内しております。交通量の多い通り沿いや人の出入りの見込める施設様内などで、新規設置もしくは入れ替えのご提案をさせていただけないでしょうか？ 売り上げの一部（3%ほど）は地域福祉事業費として還元されます。また、災害時、自販機内の飲料を支援物資として活用することも可能です。

興味を持たれたご協力者様、ぜひ社会福祉協議会までご一報（TEL34-6068）下さい。（売り上げ見込みの厳しい場所によっては、メーカー様より設置が難しいと判断される場合がございますので予めご了承ください）



Facebook (フェイスブック) 再開しました

しばらくお休みしていたフェイスブックですが、再開いたしました。

社会福祉協議会での近況や福祉事業の活動報告などを随時アップしております。赤井川村のホームページよりアクセスしていただけますと簡単です。多くのご閲覧をお待ちしております。

社会福祉事業に対する

善意の寄付

ありがとうございます

* 北海道信金ひまわり財団様

(余市町)

100,000円

* 湯澤節子様(字赤井川)

70,000円

* 高木孝子様(字赤井川)

10,250円

* 大西好子様(字池田)

5,000円

* 配食サービス指定寄付

姉帯紀子様(字赤井川)

10,000円

瀬尾 満様(字赤井川)

1,000円

* 送迎サービスに係る指定寄付
12月16日～2月15日(22件分)

9,300円

○ 社協の事業にご理解いただき、たくさんのご寄付ありがとうございます。赤井川村の地域福祉のために大切に使用させていただきます。

あとがき

立春も過ぎましたが寒さの厳しい日々が続いております。皆様、お変わりはありませんでしょうか？

社会福祉協議会では3月11日に井川村日赤奉仕団さんと共同で「災害時高齢者生支援講習」を開催予定です。昨今、国内でも地震による津波や大規模停電などの被害が発生し、対応に追われる様子がテレビでも放送されています。決して他人の話ではなく、いつ、どこで、どのように発生するのかわからないのが災害であり、赤井川村も例外ではありません。まさに「備えあれば憂いなし」なのだと思います。

また、災害時に多くのボランティアが駆け付け、支援にあたる様子も報道されるようになりました。これらの報道を見聞きし、「日本も捨てたもんじゃない」と感じたのは私だけではないはずです。しかしながら、大挙するボランティアを適正配置する難しさ、マナー・モラルの問題、蔓延してしまう感染症など幾多の問題も露見されることになりました。意欲や行動だけでなく、正しい知識を身に付け、適切な対処ができることも求められているのだと感じます。ぜひ、講習会にご参加下さい。朝晩はまだまだ冷えますので体調にはご留意くださいませ。春はもうすぐです。